

2・4ガザ攻撃即時中止!

パレスチナ連帯!

2024ZENKO集会&デモ



日時 2月4日(日)

14:00~14:40 集会

[場所] 中之島公園水上ステージ

14:50~16:00 デモ

16:00~16:30 梅田駅前宣伝行動

デモコース 大阪市役所前→御堂筋北上→アメリカ領事館→梅田・OSビル

イスラエルがパレスチナ・ガザ市民の虐殺を始めてから3か月が経ちました。イスラエルによるガザ地区への地上侵攻、無差別攻撃で、すでにガザ住民の死者数は2万2835人(1月7日現在)に達し、その約4割が子どもです。

イスラエル軍は、病院、救急車、学校、幼稚園、難民キャンプなどに対する空爆と攻撃を続け、果ては国連職員、ジャーナリスト、イスラエル人の人質の命まで奪い続けています。ガザ地区全体の人口のおよそ9割にのぼる190万人が家を追われるなど、ガザ地区の占領統治を狙っています。これは「自衛権の行使」ではなく、国際法違反のジェノサイド(集団虐殺)であり、許されるものではありません。

イスラエル軍は「2024年も戦闘は続く」と主張し、戦闘終結の見通しは立っていません。今こそ国際連帯の力で即時停戦、ヨルダン川から地中海までパレスチナの自由を実現しましょう。



よびかけ: ZENKO (平和と民主主義をめざす全国交歓会) 問い合わせ: 090-8162-3004 (川島)

淀屋橋

パレスチナ問題とは何か？

パレスチナ問題とは、イスラエルが違法にパレスチナを軍事占領していることです。

第一次大戦後、英国による「三枚舌」外交(注:ユダヤ人とアラブ人に国家建設を約束し、仏露とはオスマン帝国領土の分割の密約を結ぶ)でユダヤ人(イスラエル)とアラブ諸国の間に戦争の種を残します。第二次大戦後の1947年、米国の主導で国連はパレスチナ地域をユダヤ国家とアラブ国家に分割する決議を採択します。しかし、6%しか所有していないユダヤ人に57%の土地を与えるなど、アラブ人にとって著しく不利な内容でした。

1948年、ユダヤ人の国家イスラエルの“建国”を宣言します。これを承認しないアラブ諸国がイスラエルに軍事侵攻し、第一次中東戦争が始まります。第一次中東戦争によりイスラエルの占領した範囲は77%、国連分割案の1・5倍の面積を手に入れました。その後も第二次・三次中東戦争、イスラエルの入植活動(※注:武力でアラブ人の土地を奪い、そこにユダヤ人を移住させる。国際法違反である)によりパレスチナは大幅に縮小し、現在はイスラエルが90%以上を占領・支配しています。



ガザ地域について

1993年にイスラエルとPLO(パレスチナ解放機構)の間で結ばれた「オスロ合意」に基づいて、翌94年ガザ地区は、ヨルダン川西岸地区と共に「パレスチナ自治区」になりました。

「天井のない監獄」と呼ばれるガザ地区は南北約50km、東西約8kmを高さ6mのコンクリート壁などで囲まれています。種子島ほどの面積に220万人の人が住む、世界で最も人口密度が高い場所の一つです。人口の約45%は14歳以下の子どもで、7割は難民となった人々です。

2005年、イスラエルはガザ内部から入植者と軍を撤退させ、事実上ガザを放棄しました。その代わり周囲を封鎖、人や物の出入りを大きく制限しました。その結果、燃料や食料、日用品、医療品などが慢性的に欠乏し、経済や生産活動が停滞して、人々は国連や支援団体からの援助物資で命をつないでいます。

また2008年、2009年、2012年、2014年、そして2021年と、イスラエル軍は逃げ場のないガザに大規模軍事侵攻を行いました。イスラエル軍からの激しい軍事攻撃が行われ、多数の市民が犠牲になり、ガザの状況をますます悪化させてきました。

そして、今回の戦闘でガザ地域の人びとをエジプト(シナイ半島)に追い出し、「ガザを地図から消し去る」ことを狙っているのです。

